

新規会員
募集

2026<ヨーロッパ>切手頒布会



70th Anniversary of the Europa stamp

2026年のテーマは『EUROPA切手70周年』

2026年は<ヨーロッパ>切手70周年にあたります。ヨーロッパ諸国間の関係強化と持続的な平和と団結を促進するために1956年にベルギー、フランス、西ドイツ(当時)、イタリア、ルクセンブルク、オランダ(欧州連合の創設メンバー)の6カ国によって初めて発行され、現在では53の国・地域の加盟団体が参加するまでに成長しています。

切手発行70周年にあたり、PostEuropは2026年のヨーロッパ切手に共通デザインを採用することを発表し、デザインコンペティションには15件の応募があり、50の郵便団体が投票しました。

その結果選ばれたのは、クラウス・ウェルプがデザインしたフィンランドの切手です。

斜めに昇る点線は切手の目打と前進するPostEuropを表しています。また、7つの点は直線でつながっており、70年の年月を象徴しています。背景のグラデーションや点状模様が一体感のある鮮やかな表面は、ヨーロッパの楽しげな色彩の混ざり合いを映し出す旗であり、すべての加盟国の団結を象徴しています。

頒布内容

共通デザイン フィンランド 2026.5.6 発行▶

- ・2026年発行の<ヨーロッパ>切手(未使用完全セット、1点5,000円まで)を頒布します。(5,010円以上の切手は別途ご案内いたします。)

※PostEuropに加盟するヨーロッパ各国の公的郵便事業者が同様のテーマで<ヨーロッパ>切手として発行している切手を頒布いたします。



ハンガリー
2026.4.10 発行▼

頒布期間

- ・2026年7月～2027年6月(全12回)毎月1回10日前後に発送します。

※頒布期間は切手の発行状況により前後する場合がございます。

専用リーフ

- ・オリジナルデザインの専用リーフ(ポストクサイズ)を、2027年6月に頒布する予定です。(詳細につきましては、頒布前にご案内いたします。)

頒布予算

- ・毎月13,500円(税込、荷造送料別途)前後になる見込みです。

※専用リーフの価格は含まれておりません。

※各切手の価格は公益財団法人日本郵趣協会が発行する機関誌『郵趣』の「世界新切手ニュース」テキスト版の欄で発表される新切手価格に準じます。



お支払い方法

- ・郵便振替用紙によるお支払いをされている方で、金融機関からの口座振替(自動引落とし)をご希望される方は、お客様サービス室までご連絡ください。登録必要書類をお送りいたします。

お申込み番号: 99-4236 お申込締切日: 2026年6月27日(土)



オランダ 2026.5.8 発行▲

★掲載している2026年<ヨーロッパ>切手は、いずれも報道資料から入手したデータ画像のため、鮮明さに欠ける場合がございます。また、発行日や図案は変更される可能性もございますので、予めご了承ください。

2025年の頒布実績 昨年のテーマは『考古学的発見』でした。頒布実績は下記の50カ国でした。(国名アルファベット順)

オランダ、アンドラ、オーストリア、アゼルバイジャン、アゾレス、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フェロー諸島、フィンランド、フランス、ドイツ、ジブラルタル、ギリシャ、グリーンランド、ガーンジー、ハンガリー、アイルランド、イタリア、ジャージー、コンソボ、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マデイラ、マルタ、マン島、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、北マケドニア、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、サンマリノ、セルビア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、ウクライナ。